

※台詞の説明

ピンク文字→ゆり

紫文字→ゆかり

あー、美味しかったあ。

温泉も良かったし、料理も美味しいし、来てよかったあ。

君も、満足してる？

うん、それなら、よかった。

……え？

あはは。いいよ、本当に気にしないで。

親戚から貰った優待券で、安く済んでるんだから。

これだけの宿で、これだけ贅沢して「え、本当に？」ってくらい、驚きの値段なんだよ。

もう、いいってば。出してほしかったら、ちゃんと言うから。

付き合ってくれたお礼に、これくらい、させてよ。

ほら、ずっと来たかったけど、ひとりで来るのは寂しいし、友達も、予定が合わなくて。

……っていうのは、半分、嘘、かな。

本当は、君と来たかったんだ。

ふふ。

どういう意味か、言わなくても、わかるよね。

……ねえ、迷惑かな。

……本当？

嬉しいな。

君も、私のこと、好き……なんだ。

ふふ。

嬉しい。

……すごく、嬉しい。

じゃあ、今日が、ふたりの交際記念日。

ね。そうだよね。

えへへ。

なんか、改めて、ちゃんと言うと、恥ずかしいね。

ね、好きだよ。

私は、君のことが、好き。

これからも、ずっと。

……君は？

……うん。

ふふふ。

そっかそっか。一生、愛してくれるんだ。ふふ。そっかー。

その言葉、私、絶対、忘れないからね。

えへへ。

……あつ。

そうそう、この宿ね、マッサージが、凄い気持ちいいらしいんだ。

それで、私も受け付けの時、予約しちゃったんだけど——あと、30分くらいかな。

ごめん、少し、寝てもいいかな。

今日、いっぱい歩き回ったし、今ので、凄い、緊張しちゃったし……。あはは。なんか、急に、安心っていうか、すっごく、眠くなっちゃって……。

え、マッサージ師さんが来たら、起こしてくれる？

ありがとう。

じゃあ、お言葉に甘えて、少し、横になろうかな。

……あつ。

言っておくけど、寝てる間に、その、変なことしたら、ダメだよ？

だ、だから、その……寝顔、写真撮ったりとか、その、パンツ、見たりとか。

絶対、ダメ、だからね。

——私、君のこと、信じてるから。

……うん。よろしい。

ふふ。

それじゃあ、おやすみなさい。

(ノックの音)

失礼します。マッサージに参りました、ゆかりです。

……えーっと。

ゆり様は、そちらで、眠ってらっしゃる、女性ですか？

……お客様は、ゆり様の、お連れの方でしょうか？

……ふうん。

おふたりは、どういったご関係なんですか？

どうしました、お顔、赤くしちゃって。

ああ。そういう関係なんですね。

いいですねー、初々しくて。

どれくらい、進展されてるんです？

もう、大人の関係だったりするんですか？

いいじゃないですか、隠さなくても。

そういうの、私、好きなんですよ。

ね。お姉さんに、教えてください。

ええ？

キスも、まだなんですか？

それなのに、ふたりっきりでお泊りかあ。

凄いなあ、最近の若い子たちは。

……ん？ 私も若いんですか？

ふふ。ありがとうございます。

でも、そっか。どうしましょうか。

ゆり様、気持ちよさそうに、眠られてますし……。

起こすのもなんだか、申し訳ないですね。

ああ、そうだ。

じゃあ、代わりに、マッサージするっていうのはどうですか？

私も、せっかく来たのに、何もしないで帰るのも、つまらないですし。

ね、そうしましょう。

そんな、恥ずかしがる必要なんてないですよ。

それじゃあ、私、失礼して、布団に横になりますね。

……ん？

どうしたんですか？ きょとんとした顔、しちゃって。

え？

そうですよ。マッサージですよ。

あなたが、私に、マッサージ、するんです。

何、ぼーっとしてるんですか。

ほら、早く。

私のこと、気持ちよくしてください。

ほおらあ。早くう。

ねえ、あなたは、ここの温泉、入りました？

私もね、毎日入ってるんですよ。

だから、見て。

脚なんて、すべすべでしょう？

触ってごらん？

ふふ。

そうそう、ちゃんと、掴んで。
すすーって、撫でてください。
ね。すべすべでしょう？
触っていて、気持ちいいでしょう？
もっと触っていいんですよ？
すりすりーって、撫でたり、揉んだり、押したり……。
私の脚、あなたの好きに、マッサージして、いいんですよ？
さっきもね、温泉、入ってきたばかりなんです。
だから、ぼかぼかしてますよね？
じつとりと、してますよね。
匂いも、温泉の匂い、するんじゃないかしら。
ほら、嗅いでごらん？
すーはーすーはーって。
お姉さんの脚、嗅いでみましょうか。
ふふ。
あはは。
やあだ、鼻息、くすぐったいですよ。
ちゃあんと、手も、動かさない。
踵（かかと）やふくらはぎをもみもみして、ゆっくり、上がってきて……。
そうです。太腿も、ちゃんと、柔らかくして。
……んっ。
上手ですね。気持ちいいですよ。
んん……。
あっ……ひふあっ……ふああっ……♥
……え？
静かになって？
だって、あなたのマッサージ、気持ちいいんですもん。
ああんっ……気持ちいいっ……あああっ♥
声出さないでって……だったら、その手、止めればいいじゃないですか。
私の脚、もみもみするの、やめない癖に。
それで、黙ってって、言われても……あっ……ああう……んんっ♥
ふふ。
ふふふ。
すぐ近くに、彼女さんがいるのに、他の女、気持ちよくしちやって。
悪い子ですね。
なあに？

なにが、仕方ないんですか？

自分から望んだわけじゃない？

はあ。言い訳ばかりですね。

ちょっと、態勢、直しますね。

よっと……。

（以下、囁き声で）

ねえ。

仕方ないって言ってるくせに、なんで、ここ、こんなに硬くしてるんですか？

わかりますよ。さっきから、脚に当たってたもの。

あ、もしかして、当ててたんですか？

ふふ。

これ、どうしたいの？

このままじゃ、苦しいですよ。

あなたに、ひとつ、教えてあげる。

さっき、私、言いましたよね。

温泉に、入ってきたばかりだ、って。

この浴衣の下、どうなってると思います？

ふふ。

そうですよ。

——下着、穿いてないの。

ね。

どうしたい？

見たい？

挿れたい？

お姉さん、君のこと、気にいっちゃったから……

いいですよ？

おまんこに、ズボズボして、いいですよ？

君、童貞さん、ですよ？

ふふ。その反応、やっぱり。

私ね、わかっちゃうんですよ。童貞さんって。

ねえ、童貞。

お姉さんが、童貞、奪ってあげましょうか？

一生忘れられない、生ハメセックス、しちゃいませんか？

初めてなのに、お姉さんに、いーっぱい、ザーメン、中出し、したくないですか？

ねえ、どうする？

大丈夫ですよ。

静かにやれば、彼女さんにもバレません。

声を出さないように、深いキスをしながら、セックス、するんです。

舌と舌をいやらしく絡めあいながら、手を恋人繋ぎして、

お姉さんのおまんこ、必死でずぼずぼ、しちゃお？

彼女のすぐ近くで、私と、らぶらぶセックス、したいですよ？

彼女の前で、会ったばかりの女を、ハメちゃおっか？

彼女の前で、大切に守ってきた童貞、一瞬で奪われちゃおっか？

彼女の前で、違う女の中に、精液、びゅるるるって、出しちゃおっか？

(耳舐め音)

ほら、どうする？

挿れたい？

ん？

じゃあ、そうですねえ……。

恥ずかしいポーズで、お願いしてごらん？

そうだ、M字開脚なんて、面白いんじゃないですか？

ほら、そこで、M字開脚♪

……ふふ。

あはは。本当にするんですね（笑）

ふっ……ふふ！

似合う似合う（笑）

そのポーズで、アへ顔晒して、こう言うんですよ。

お願いします、ゆかり様の中で、だらしないマゾ精液びゅっぴゅさせてくださいって。

みっともなく、みじめに、だらしなく、言っごらん？

(以上、囁き声終わり)

はい。

ど・う・ぞ。

(数秒の間)

パシャ (カメラのシャッター音)

はあ……。 (深い溜息)

もう、最悪……。

なに、そのポーズ。

なに、今のセリフ。

最悪。信じられない。馬鹿じゃないの。

ふふ。

あははははは。

ゆりちゃん、ちゃんと説明してあげないと、この子、茫然としちゃってるよ？

あは。

お姉ちゃんに協力してもらおうように頼んだんだよ。

お姉ちゃん、ここで、働いてるの。

改めて、初めまして。

私、ゆりちゃんの姉の、ゆかりです。

よーく見たら、似てるでしょう？

ふふ。

あなたが、本当に、私のこと、これからも愛してくれるか、試したかったの。
やり方は、間違ってたかもしれないけど……。
でも、私、信じてたんだよ？
あなたは、どんな誘惑にあっても、私のこと、裏切らないって。
それなのに……。

なに、これ。
なに、このポーズ。
ねえ、今のセリフ、なに？

このゴミ。

お前なんかを信じた私がバカだったよ。
このド変態。
人間の屑。
最低。
ほんと、最低！

……ねえ。
なんで、罵倒されて、そこ、硬くしてんの？
意味わかんないんだけど。
違うじゃない。
硬くしてるじゃん。

ほらっ！

ねえ！！
この脚の下で、硬くなってるの、何！？
罵倒されて、踏まれてるのに、なんで、硬くしてるのよ！
このド変態マゾ！！

あーあ、ゆりちゃん、怒らせちゃいましたね。

ねー、怖いですね。
自分から仕掛けた癖にね。
こんなに怒らなくてもいいのにね。
大丈夫。
お姉ちゃんは、あなたの味方ですよ。
ほら、後ろから、ぎゅーって、抱きしめてあげますね。
ふーっ。(耳に息ふきかけ)

おい。
今、また、反応したよね。
この期に及んで、まだ、私以外の女で、興奮したんだ？
いや、わかるって。
今、あんたのおちんぼ、私の脚の下にあるんだよ？
少しでも反応したら、わかるから。
違う？
私のことが好き？
だったら、それで証明してよ。
私のことが好きなら、私以外で興奮しないでしょ？

しませんよね。
君は、ゆりちゃんのことを、好きですもんね。
私に、興奮なんて。
するわけ、ありまちゃんよねー？
こうやって。
背後から、ぎゅーってされてえ。
赤ちゃん言葉で話しかけられてえ。
乳首、指で、きゅっきゅってされても。
興奮なんか、ちまちゃんよねー？
んー？
どうしましたー？
あっ、あっ、って。
女の子みたいな声、出ちゃってまちゅよー？
ふふ。

可愛いでちゅねー。

きゅっ。きゅっ。

ほら、お耳、舐めてあげまちゅねー。

(耳舐め音)

あはっ。

びくん、びくんって、大きく身体、弾んじやいまちゅねー。

きゅっ。きゅっ。きゅっ。

んー。可愛い、可愛いでちゅよー。

なーで、なーで。

わかった。

もう、わかった。

あんたのそれ、潰すから。

もういいよ。

何も聞きたくない。

ほら、私の脚で、潰してあげる。

ほらっ。

ほらっ！

ほらっ！！

このゴミ！！

ド変態マゾ！！

屑！！

んー。

がくがくって、全身、震わせちゃって。

そんなに痛いんでちゅか？

気持ちいいんじゃないんですか？

(以下、囁き声)

無駄ですよ。逃げようとしたって。
こうやって、私が、後ろから抱きしめてるんですから。
あなたは、逃・げ・ら・れ・ま・せ・ん♪
(以上、終わり)

うわっ。
ふふ。
ねえ、なんか、湿ってきてるんだけど？
ふふふ。
やっぱりね。
思った通り。
あなたは、どうしようもないマゾ。
ふふ。
あはは。
ねえ、これ、なんで濡れてるのかなあ。
これって、君の、我慢汁だよ？
女の子に、足で踏まれて、興奮しちゃった証だよ？
女の子の脚で、興奮しちゃったんだよ？
あはは。
まだ否定するんだ。
逃げられないからって……。
ふっ。
あなた、男なんだよ？
本気で、ほどこうと思えば、いつだってほどけるでしょ？
でも、お前はそれをしない。
なんでかなあ。
気持ちいいからだよね。
女の子に支配されるのが、快感だからだよ。
いいよ、認めちゃおうよ。
あなたは、女の子に支配されるのが大好き。
あなたは、女の子に屈服することに、快感を感じる、ド変態マゾ。
ほら、これ。
あなたのきったないお汁で汚れた、私の足裏。

ねえ、舐めたい？

ん？

舐めたいの？

じゃあ、認めちゃおうね。
私の後に、続いて言いましょうね。

僕は、女の子に支配されるのが大好きな、マゾ犬です。

僕は、女の子に責められることでしか興奮できない、惨めな男です。

僕は、これからの人生、ゆり様を悦ばせることにすべてを捧げます。

お願いします。ゆり様のマゾ奴隷にしてください。

ふっ。
ふふふ。

あは。

あはははははははは。

あーあ、言っちゃった。とうとう認めちゃった。
あなたを一目見たときから、思ってたんだよね。
マゾ犬の素質あるな、コイツって（笑）。

ほら、マゾ犬。ご褒美だよ。

私の足裏、ぺろぺろしろ、変態。

うっわ、凄い必死。（笑）
ねー、そんなに私の足裏、美味しいの？
ご主人様の足裏、ぺろぺろできて、嬉しいね。

指と指の間まで、しっかり舐めろよ。
ちゃんと綺麗にしないと、オシオキ、だからね。

ふふ。
良かったですね。
ゆりちゃんの奴隷さんになれて、良かったですね。
あなたでね、4人目なんですよ。
こうやって、ゆりちゃんに、堕とされるの。
1人目じゃなくて残念？
そんなことないよね。
ゆりちゃんの奴隷になれただけで、光栄だよね。
これからは、いっっぱい、ゆりちゃんに尽くすんですよ？
それが、あなたの幸せ。
それが、あなたの人生。
よかったですね。
幸せですね。
たまにはこうやって、私も、お前のこと、オモチャにしてやりますからね。
(耳舐め)
何度も何度も、壊れちゃいましょうね。
ふふ。
ふふふふ。

ねえ、いつまで舐めてんの？
ストップ。
ストップだよ、マゾ奴隷。

あーあ、綺麗にしてほしかったのに、
お前の汚い唾液でぐっしやぐっしやじゃん。
ちゃーんと、拭いて、綺麗にしないとね。

お・ま・え・の・こ・こ・で。

ほらっ。

ねえ、股間、私の脚でぐりぐりされるの、気持ちいいでしょ？
いっそのこと、私の脚でしか、射精できないようになっちゃおうか。
他の女じゃ、絶対に興奮しない。
他の女じゃ、絶対に射精できない。
誰といるときだって、私のことしか考えられない。
そんな、素敵な身体になっちゃおうね。
ふふ。
ふふふふ。

ほーら。
ぐりぐり。

ぐり。

ぐりぐりぐり。

ぐーり。

ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり！

もう飽きてきたから、そろそろ射精、しちゃおっか。
この射精で、お前を晴れて、私の奴隷に正式に認定してあげる。
射精するときは、ちゃーんと、「ゆり様あ、イっちゃいますうう」って、
私の名前、叫びながら、イクんだよ？
みっともないアへ顔晒して、惨めな童貞汁、びゅくびゅく、出してね？

ほらほらほら。
ゆりちゃんに踏まれて、みっともなく、イっちゃいましょうね。
きったないきったない悲惨なマゾ汁、お漏らししちゃいましょうね。
せっかく出来たばかりの彼女、数時間で、失っちゃったけど、
もうそんなの、どうでもいいですよ。
だって、マゾ奴隷になれたんですから。

ね。

ふーっ。(耳に息吹きかけ)

ほーら。

ゆりちゃんからは脚でおちんちんぐりぐりされて、

私からは、乳首をきゅっきゅって抓られたり、

つつーって、撫でられたり、

こうやって、首筋を……(舐める音)

ふふふ。

最高ですよ。

おちんちん、ぐりぐりされながら、最高ですう、って叫び続けるんですよ。

あはは。

みっともない(笑)

気持ち悪いでちゅねー(笑)

こんな人間、この世にいるんでちゅねー(笑)

あっははは。

ほら、イっちゃいまちようねー。

白いオシッコ、びゅくびゅくびゅっびゅ、しちやいまちようねー(笑)

イきそう？

もうイっちゃう？

イっちゃうね。

もう、イっちゃうね。

ねえ、言い忘れてたけど、

さっき、私が撮った写真、あるでしょ。

こーれ。

ふふふ。

あなたがアへ顔晒してM字開脚してる、みっともない写真。

あは。

改めて見ても笑える。ふふ。

これね、あなたが射精すると同時に、知り合いに一斉送信するからね。

ふふ。

みんなで、お前のこと、笑いものにしてあ・げ・る（笑）

ほら、イケ。

イっちゃえ。

このド変態童貞マゾ！！

イケ！！！！

きやつ！

（以下、できれば、背後でゆかりの笑い声を終わりまで）

うわっ、浴衣の股間部分、すごい染みになってる！

あはは！

きったない！（笑）

（匂いを嗅ぐ音）

うっわ、くっさい（笑）

ねえ変態。

こんなくさいの溜めこんでたの？

マジ信じられない（笑）

ふふ。

目、とろーんとしちやって。

はい、その顔も、いただき。（パシヤッ）

はい、一斉送信、終了♪

ねえ、大丈夫？

意識、飛んじゃってないよね？（笑）

ねえ、ちゃんと聞こえてる？

ダメだよ、これくらいで狂ってたら。

これからは、もっと。

君のこと、狂わせてあげるんだから。

嬉しいよね？

ふふ。

ふふふ。

あははははははは。